

栄養やまなし No. 98

公益社団法人 山梨県栄養士会 〒400-0805甲府市酒折1丁目1-11 ☎055-222-8593 平成26年1月



セミナー「牛乳を科学する」研修会風景

1～5月の行事予定

生涯学習研修会	2月22日(土)	ぴゅあ総合
新任者研修会	3月1日(土)	山梨学院短期大学
栄養業務研究発表会	3月1日(土)	山梨学院短期大学
平成26年度定時総会	5月24日(土)	ぴゅあ総合

目

次

新年のご挨拶

会長 田草川憲男…………… 2

案内・報告

- ・生涯学習研修会の開催について…………… 3
- ・栄養士新任者研修会の開催について…………… 3
- ・栄養業務研究発表会の開催について…………… 3
- ・第28回管理栄養士国家試験の実施について…………… 3
- ・市町村管理栄養士設置に関する陳情活動(報告)…………… 3
- ・栄養業務研究発表会発表要旨…………… 4

お知らせ

- ・生涯教育研修会(今までの生涯学習研修会)の実施について…………… 5
- ・業務支援システム(会員管理を含む)の運用に伴い皆様の
会員情報の提供をお願いします…………… 6
- ・健やか山梨21(第2次)が策定されました…………… 7
- ・平成26年度 第61回日本栄養改善学会が横浜市で開催
されます…………… 7

平成25年写真で見える山梨県栄養士会の主な活動…………… 7

各種事業・研修会等実施のようす

- ・歯の衛生週間に伴う栄養相談の実施状況…………… 9
- ・セミナー「牛乳を科学する」を開催しました…………… 10
- ・食の安全・安心食育セミナーに協力しました…………… 10
- ・いきいき山梨ねりんピックでの取り組み…………… 10
- ・がんフォーラムでの栄養相談の取り組み…………… 10
- ・山梨県民歯科保健のつどいでの取り組み…………… 10
- ・「JDA-DAT災害支援研修会」参加報告…………… 11

- ・県栄養管理研修会を実施いたしました…………… 11
- ・児童福祉施設におけるクッキング講座実施報告…………… 11
- ・県民の日記念行事での栄養相談の取り組み…………… 11
- ・出前栄養相談事業実施のようす…………… 12
- ・国民文化祭への参加協力のようす…………… 12
- 厚生労働大臣表彰受賞おめでとうございます…………… 13
- 山梨県県知事表彰受賞おめでとうございます…………… 14
- 日本栄養士会会長表彰受賞おめでとうございます…………… 16
- 「今年の抱負・午年生まれの会員に聞く」…………… 17

職域事業部のコーナー

- 学校健康教育事業部…………… 19
- 公衆衛生事業部…………… 19
- 研究教育事業部…………… 20
- 勤労者支援事業部…………… 20
- 地域活動事業部…………… 21
- 医療事業部…………… 21
- 福祉事業部…………… 22

こんにちは ～給食委託会社勤務の会員から～

- ・(株)メフォス…………… 23
- ・シダックスフードサービス(株)…………… 23

私がんばっています…………… 24

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

- ・公益社団法人 山梨県栄養士会役員一同…………… 25
- ・公益社団法人 山梨県栄養士会賛助会員…………… 26

事務局からのご案内…………… 28



新年のご挨拶

生涯教育研修会（従来の生涯学習研修会）がスタートします
～生涯能力開発という考え方でキャリア形成を全会員が目指します～

公益社団法人 山梨県栄養士会会長 田草川 憲男

あけましておめでとうございます。

平成26年の新しい年にあたり、会員の皆様や御家族及び関係者の皆様が幸せな1年でありますように心からお祈りいたします。

さて、平成26年度から始まる全管理栄養士・栄養士が受講対象となる「生涯教育研修会」について主要内容をお伝えします。

科学の進歩と社会の変化に的確に対応するために、常にスキルの向上

栄養を通して人々の健康維持・増進、疾病予防、治療にかかわる業務の専門職である管理栄養士・栄養士は、その職務を果たすために必要となる知識を習得し、日々研鑽を重ねて身につけ、公衆衛生の向上に寄与すべきであります。

自身の日常業務に必要な知識の学習は当然で、管理栄養士・栄養士として科学の進歩と社会の変化に的確に対応するために、常にスキルの向上を図り、専門職としての能力の習得が求められています。

管理栄養士・栄養士のキャリア形成を支援できる生涯職能開発への移行を行う

従来から行ってきた生涯学習からキャリア形成を支援できる生涯教育制度とするため、研修の目的は、「単位」や「認定」の取得にあるのではなく、管理栄養士・栄養士として国民のために役立てる能力を身につけることです。

到達目標を自ら決定し研修計画を各自で作成する

生涯教育では、自身の評価を行い、到達目標を決定して研修計画(P)を各自で作成し、実践(D)、評価(C)、改善・見直し(A)を繰り返すことにより、スキルの向上を目指す。このPDCAサイクルで研鑽を積み、「知識・技術・倫理の面で信頼できる専門職」とあるとの社会的評価を得ることが重要であります。

生涯教育制度構築のポイント

1) 生涯職能開発 (CPD)

各職域の初任者、中堅の実務者、管理者の到達目標（コンピテンシー）を明確にして、専門知識の継続的な自己研鑽を目指す生涯職能開発への移行を図る。

2) 自己研鑽

自己研鑽は、OJT (on the job training) (日常の業務で力を磨く) を重視し、PDCAサイクルを取り入れる。

3) 生涯教育の構成

生涯教育は、栄養専門職として各専門領域で必要とされるスキルを習得し、対象者の状況に関わらず一人ひとりに応じた適切な「栄養の指導」ができことを目指す「基幹教育」と、その分野ごとにさらに専門性を高める「拡充教育」に分ける。

4) 認定制度

生涯教育の単位制度を基本に、キャリア形成を支援するためのスキルの到達度に応じた認定制度を設けます。

全員の受講を目指します

来年度から山梨県栄養士会でも開催いたします。県栄養士会として開催する研修会と各職域事業部でもテーマ設定して開催することとなり、演題等をいま本会の生涯学習委員会で検討しています。

詳しい内容は「日本栄養士会雑誌」や各会員に通知いたしますとともに、個別の相談にも応じますので、どしどし事務局にご連絡ください。

また、今後各自の受講申込みや履修状況なども、日栄のホームページからも操作するシステムも進めています。

管理栄養士・栄養士全員の受講を目指さなければなりません。各自の意識の高揚とご協力をお願いいたします。

みんなで、楽しくスキルアップしましょう。

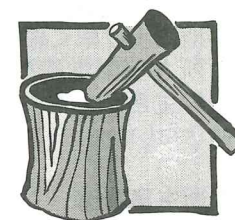
案内・報告

生涯学習研修会（平成25年度 第6回目）の開催について

と き 平成26年2月22日（土）
10:00～15:40
ところ ぴゅあ総合 大研修室
講演 10:00～11:30
演題 腎臓病患者における減塩の必要性
講師 国立病院機構 甲府病院
内科系診療部長 渡邊吉康 先生
シンポジウム 12:30～15:40
「各職域における減塩の取り組み」
シンポジスト 各事業部会員

平成25年度 第24回栄養業務研究発表会の開催について

と き 平成26年3月1日（土）
13:00～15:30
ところ ぴゅあ総合
内容 各職域事業部の代表者による研究発表8題
(発表要旨は4ページ参照)



栄養士新任者研修会の開催について

日常の業務での悩みや、効率的な仕事の工夫等、先輩栄養士の話聞き、また直接相談出来るチャンスです。ぜひふるってご参加を！！

と き 平成26年3月1日（土）
ところ 山梨学院短期大学
甲府市酒折2-4-5
申込みが必要です。詳しくは、同封の開催通知をご覧ください。

第28回管理栄養士国家試験の実施について

試験日 平成26年3月23日（日）
願書受付期日 平成26年1月10日（金）
～1月17日（金）
厚生労働省より、受験要領・願書が山梨県栄養士会事務局に届いています。

必要の方は、郵送料として切手200円を同封して山梨県栄養士会に申し込んで下さい。希望者に郵送いたします。
☆管理栄養士資格取得後は栄養士会に、資格変更のご連絡をお願いします。更新時、会員証の資格欄を変更いたします。

市町村行政管理栄養士配置の要望に関する陳情（報告）

住民の要望や社会情勢の変化に対応し、市町村における健康増進等の対策をより充実し効果をあげるために、保健、介護、国保、福祉部門に管理栄養士を正規職員として配置していただくために陳情活動を行いました。
陳情月日 平成25年11月22日（金）
～12月3日（火）

対象市町村 西桂町、山中湖村、中央市、富士川町、市川三郷町、身延町
陳情結果 訪問したすべての市町村の首長さんはじめ担当課長はその必要性は十分感じており、来年度3ヶ所で採用が内定いたしました。
なお、上記以外の未配置の町村には文書で要望依頼をしました。

平成25年度（第24回）栄養業務研究発表会（山梨県ミニ栄養改善学会）発表要旨

日 時 平成26年3月1日（土）
9時30分～12時
会 場 山梨学院短期大学
内 容 各職域部会より研究発表8題

学校健康教育事業部

上野原市立上野原小学校 栄養教諭 大神田志保

①演題「継続した食育推進を目指して」

昨年度まで所属していた、小菅村立小菅中学校において、文部科学省の委託事業平成24年度「栄養教諭を中核とした食育推進事業」に取り組み、3つのテーマを掲げ、中学校ばかりではなく、小学校、保育所、家庭や地域を巻き込む食育を行った。この食育推進事業をきっかけに、高校進学のため、他の地域より早く親元を離れる子どもたちのため、保育所から中学校卒業まで継続した指導を行い、多くの生きる力を身につけさせる取り組みを続けていきたい。

公衆衛生事業部

中北保健福祉事務所 山下すみ
中北保健福祉事務所峡北支所 沓川 洋子

②演題「中北地域・職域保健連携推進協議会での働き盛り世代への働きかけ」

地域住民の生涯を通じた健康管理を行うため、地域保健と職域保健が連携し、地域の実情に応じた協力体制を図るために必要な事項を協議することを目的に中北地域・職域保健連携推進協議会が設置されている。その協議会の下には健康情報の提供・広報活動を行うグループ、健康課題の整理・解決方法の検討を行うグループ、特定健診・特定保健指導の効果的な推進のため検討を行うグループと具体的な推進を図る3つのワーキンググループがある。健診結果では30歳～40歳代で有所見者が急激に増加している項目が複数あり、男性ではそれに加えてGOP、GPT、 γ -GTP、喫煙率、飲酒率の有所見者も多いという課題が明らかになった。現状と課題をチラシにし、地区組織の活用、出前講座等で住民への普及啓発を実施している。

研究教育事業部

山梨学院短期大学 樋口 千鶴

③演題「調理技術試験が短期大学生に及ぼす影響」

調理技術の向上を目的としたきゅうりの小口、せん切りの技術試験を1年前期で行っているが、2年次に行われる学外実習先での調理技術の評価はあまり良いとはいえない。そこで、2年間に試験を随時行い、技術と意識の向上につなぐことができたのか調査した。その結果、2年前期では合格ラインに満たなかった者はその後の学外実習でも調理技術の点で問題がみられたが、栄養士に就くことが決まった学生は技術向上の傾向がみられた。意識調査でも学外実習を経て2年後期になると小口切り、せん切りとも上達したと感じている者が90%前後と多く、実際の技術習得率も向上していたので技術試験の意義はあったと考えられる。

勤労者支援事業部

甲府刑務所 深山 俊彦

④演題「刑事施設における管理栄養士の業務」

まず始めに栄養業務研究発表会という場をお借りして、刑事施設という一般の方にはあまり馴染みのない特殊な施設の業務について概要を述べていきます。次に刑事施設という特殊な施設における管理栄養士として、日々の業務内容及び食への関心が非常に高い収容者に対して、栄養面からのアプローチの仕方など、刑事施設と一般社会の施設との相違点を述べていくつもりです。最後に刑事施設において一般の方が参加できる要項の説明を致します。

地域活動事業部

芦沢 恵介

⑤演題「児童館出前栄養相談事業の取り組み」

今年度も数多くの児童館事業がありました。中でも、幼児・保護者を対象にした児童館事業が大半です。幼児に対しての食事の悩みは、それぞれ違いがあり、そんな中で、地域活動の栄養士が出来る事は何かを、実施して感じたこと、アンケート結果から発表していきたいと思ひます。

医療事業部

市立甲府病院 齊藤 寛子

⑥演題「市民のそら豆はどうなるのか・・・？」

平成24年11月25日に行われた「市民公開講座」腎臓病予防～山梨・甲州腎を守る～慢性腎臓病（CKD）って何だろうで、「食事で防ぐ腎臓病」を担当した内容について発表させていただきます。

医療事業部

甲府城南病院 保坂 麻衣

⑦演題「アルギニン配合栄養補助食品による褥瘡治療への新たなアプローチ」

当院では、平成23年度からアルギニン配合栄養補助食品のアバンドを使用しています。褥瘡患者13名に対し、アバンドを継続投与し、投与前後のBMI、血清総蛋白、アルブミン、尿素窒素およびクレアチニンを測定比較し、平成25年7月に行われた日本褥瘡学会で発表しましたので報告します。

福祉事業部

ショートステイ コスモ・アルポーレ
内藤 尚子

⑧演題「簡易栄養状態評価表（MNA）を使用している栄養管理」

コスモグループ4施設目として、平成24年4月に開所した単独ショートステイです。

グループの方針でショート施設ではありますが、管理栄養士として栄養ケアを実施しております。MNAを利用することにより、定員40名の入退所が激しいなかでも、1枚のシートで血液データ等なくても、短時間にご利用者の状況を確認し低栄養状態のリスクを振り分けご利用者様への関わりも持ちやすくなり、多職種への報告もスムーズになりました。

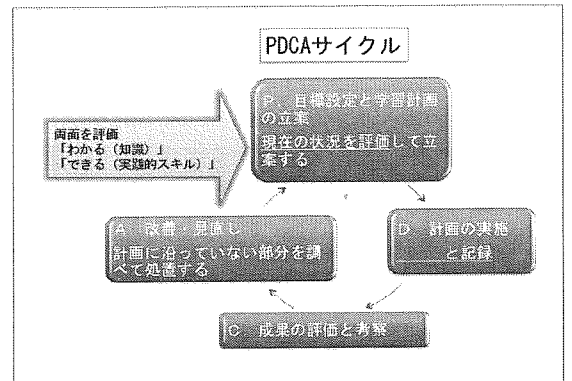
お知らせ

日本栄養士会 生涯教育が新しくスタートします！（平成26年度～）

●基本的考え方

管理栄養士・栄養士は、「栄養の指導」を通して人々の健康維持・増進にかかわる専門職であり、常にスキルの向上を図ることが求められています。そこで、今まで行ってきた生涯学習（CE：continuing education）から、生涯職能開発（CPD：continuous professional development）の考え方をとり入れ、キャリア形成を支援できる生涯教育へ、新しく制度が変わります。

研修の目的は、「単位」や「認定」の取得ではなく、「専門職に必要な能力」を身につけることです。自己評価をおこない、到達目標を決定して「研修計画（P）」を各自で作成、実践（D）、評価（C）、改善・見直し（A）」のPDCAサイクルでスキルを向上し、「知識・技術・倫理の面で信頼できる専門職」である、と社会的評価を得られる管理栄養士・栄養士を目指しましょう！

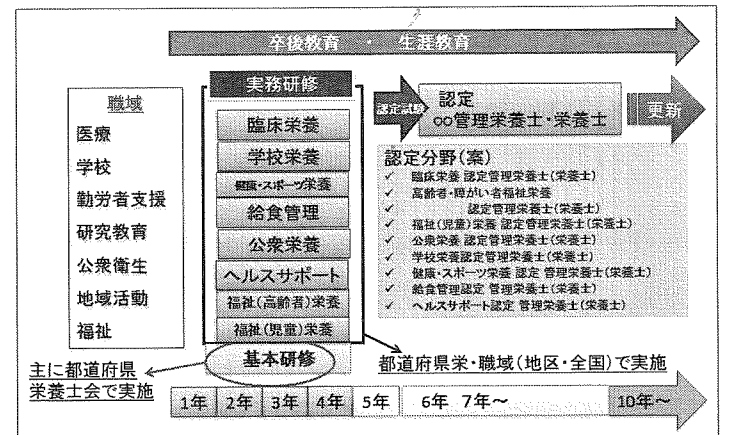


生涯職能開発（CPD）のプロセス

●基幹教育とは？

基本研修：管理栄養士・栄養士として備えておくべきスキルの研修です。すべての職域の管理栄養士・栄養士に共通する、ミニマムスタンダード（基本的事項）の習得を目指します。原則として管理栄養士・栄養士全てが受講していただく内容です。

実務研修：各専門分野で特化した知識・技術の習熟のための研修です。専門分野（職域）が主体となって実施します。分野を自由に選択して受講していただけます。全国研修会や、従来のスキルアップ研修会、都道府県栄養士会との共同研修事業（賛助会員の協賛事業）なども、実務研修に含まれます。他団体の研修で、事前に内容の確認と手続き（栄養士会の実務研修分野の項目と単位の認定）が行われていれば、5単位/60単位を上限に単位が認められます。



キャリアノートで自己研鑽を記録します。

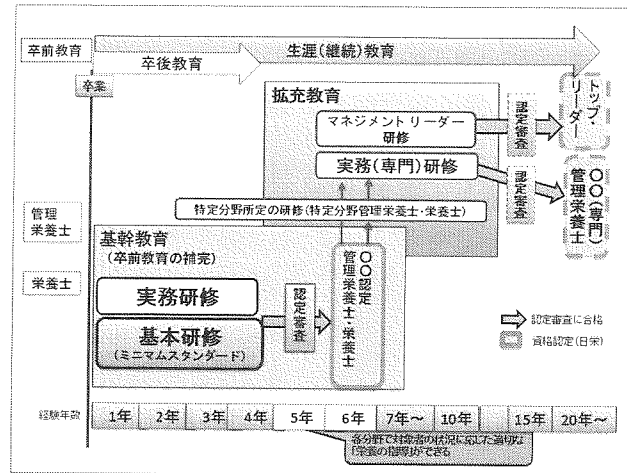
今までの生涯学習では、生涯学習記録票で受講記録を管理していましたが、新制度の基幹教育では、キャリアノートを使用して自己研鑽を記録します。いずれの記入様式も、日本栄養士会ホームページよりダウンロードできます。

①到達目標：専門分野の到達目標を選択して、到達度の自己評価を行う。

②キャリアシート：基幹教育や学会等で研修し、実務にてトレーニング（OJT）した内容を記入する。到達度が不十分な事項に対して、PDCAサイクルによる自己研鑽をした記録となる。この記録の作成目標は、年間5テーマ以上とする。

③研修の受講記録：受講した基幹研修を記録する。（電子化される予定である。）

④業績の記録：学会発表、講演（講義）、シンポジスト、学会参加などを記録する。



今までの生涯学習制度からの単位の移行について

基本研修の必須単位以外の単位と、実務者研修の単位として移行ができます。

基幹研修の修了証明書について

継続して研修をうけ、スキルの向上に努めている方へ、修了証明書を交付します。60単位以上（5年間程度）の取得で1サイクルとし、修了回数に応じて、色分けされた修了証明書を発行します（修了証明書の有効期間は5年間です。自己研鑽をつづけて、ゴールドを目指しましょう。）

修了証明書の種類	ホワイト	ブロンズ	シルバー	ゴールド
修了回数	1 サイクル	2 サイクル	3 サイクル	4 サイクル以上

生涯教育制度の各種様式は、平成26年4月頃より日本栄養士会ホームページ（<http://www.dietitian.or.jp/>）からダウンロードができるようになります。（ホームページ作成中）各研修会開催予定は、「日本栄養士会雑誌」やホームページをご覧ください。所属都道府県栄養士会へお問い合わせください。

日本栄養士会業務支援システム(会員管理を含む)の運用に伴い、皆様の会員情報の提供をお願いします。

会員の皆様の情報を管理しております会員管理のシステムが平成24年より新しくなった事に伴いまして、改めて会員の皆様より登録のためご連絡いただきたい情報がございます。

同封の「業務支援システム（会員管理を含む）の運用に伴う会員情報の提供について」をご覧ください。記載しております内容（ご報告いただくもの）をパソコンメールまたはFAXにてご連絡下さい。

スムーズな運営のため、よろしくお願いいたします。

健やか山梨21（第2次）が策定されました

この計画は、健康増進法（平成14年法律第103号）第8条の「都道府県健康増進計画」として位置づけられたもので、平成25年度から平成34年度を最終年度とした、10カ年計画です。

個人を取り巻く社会環境の質の向上を図り、健康寿命の延伸・市町村間の健康格差の縮小実

現を目指し策定されています。

詳しい内容、概要は山梨県のホームページ <http://www.pref.yamanashi.jp/> をご覧ください。

なお、説明用のパワーポイントを作成し、本会のホームページで公開しています。

管理栄養士・栄養士としてこの普及啓発につとめました。

平成26年度 第61回日本栄養改善学会が横浜で開催されます。

広島（平成23年）、名古屋（平成24年）神戸（平成25年）と遠く離れた会場が続いた栄養改善学会ですが、平成26年度はお隣、神奈川県横浜市にて開催されます。

最新の研究、多職域との交流等、スキルアップには絶好の機会です。

生涯教育研修会の振替認定にもなります。このチャンスを活かし、ぜひ積極的に学会へ参加

してみませんか？

日頃の成果を発表し、多くの意見をいただく事で、さらに仕事に磨きをかけることも大切ではないでしょうか？

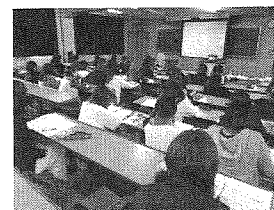
とき 平成26年8月20日(水)～22日(金)
ところ 横浜市パシフィコ横浜

学会の詳細等は「特定非営利活動法人日本栄養改善学会」ホームページ

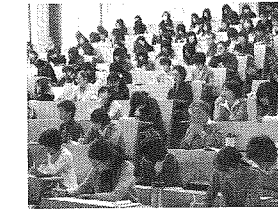
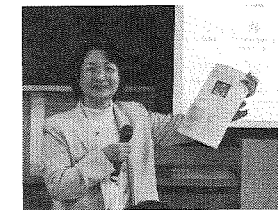
<http://www.jade.dti.ne.jp/~kaizen>
をご覧ください。

平成 25 年 写真で見る山梨県栄養士会の主な活動（H25.1.1～12.31）

研修会



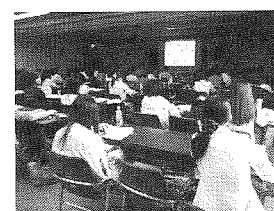
新任者研修会 H25.3.2（土）



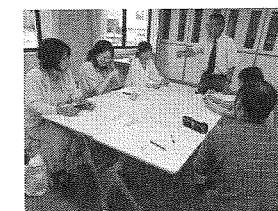
栄養業務研究発表会 H25.2.9（土）



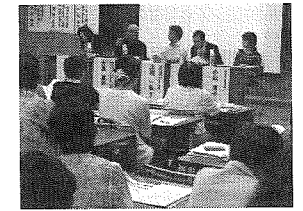
特定保健指導スキルアップ研修会



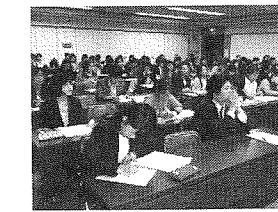
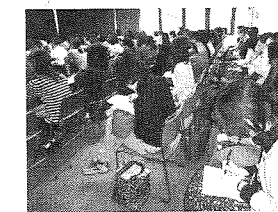
H25 年度第 4 回目 生涯学習研修会 9.7（土）



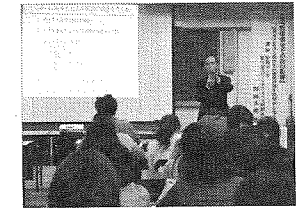
セミナー「牛乳を科学する」8.10（土）



県栄養管理研修会 11.9（土）



低出生体重児に関する研修会



公衆衛生事業部 11.1（金）

平成 25 年 写真で見る山梨県栄養士会の主な活動 (H25.1.1 ~ 12.31)

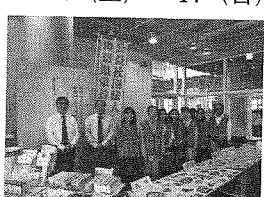
イベント



いきいき山梨ねりんピックにおける栄養相談 9.28 (土)



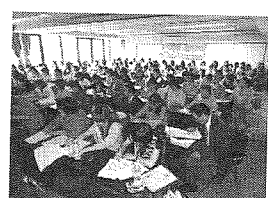
県民の日における栄養相談 11.16 (土) ~ 17 (日)



県民歯科保健のつどいにおける栄養相談 10.27 (日)

山梨がんフォーラム 9.29 (日)

会議・委員会



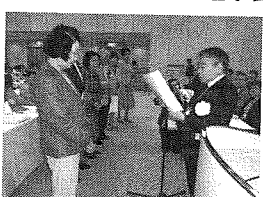
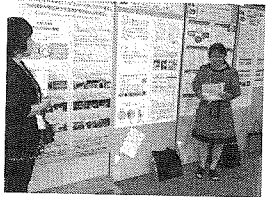
平成 25 年度 第 29 回 定時総会 5.26 (日)



栄養やまなし編集委員会 9.20 (金)

栄養・食生活編集委員会 7.19 (金)

理事会 4.6 (土)



第60回日本栄養改善学会「料理カードを用いた栄養診断ソフトの開発」
山梨学院短期大学・山梨学院大学健康栄養学部・山梨県栄養士会の
共同研究 9.12 (木) ~ 14 (土)

石坂名誉会長が日栄の名誉会員に
6.23 (日)

公務員共済バイバイメタボ教室
7.10 (水)

陳情



市町村行政管理栄養士配置の陳情

各種事業・研修会等実施のようす

歯の衛生週間に伴う栄養相談を実施

各支部での取り組み

・中北支部

と き 平成 25 年 6 月 2 日 (日)
ところ 山梨県立図書館 1 F イベントホール
内 容 ・ SAT システムによる栄養指導
・ クイズにチャレンジによる雑穀米・
経口補水液 (ORS) ・ カルシウムに
ついての説明

協力者 辻 敏子 (研究教育事業部)
望月麻里子 (福祉事業部)
渡辺 紀子 (福祉事業部)
大久保裕美 (福祉事業部)
武井さおり (福祉事業部)
若狭 綾子 (福祉事業部)
山下ますみ (公衆衛生事業部)
立川 聖子 (地域活動事業部)
古屋百合子 (地域活動事業部)



・峡北支部

と き 平成 25 年 6 月 2 日 (日)
ところ オギノリバーサイドモール内
葦崎市民交流センター 計 2 カ所
内 容 ・ 2 種類のスナック菓子とジュースに
含まれる砂糖量、同エネルギーのご
飯量の展示
・ 幼児期のおやつフードモデル展示
・ カルシウムを多く含むおやつレシピ
の配布

協力者 藤巻 藤子 (福祉事業部)
三上 順子 (福祉事業部)
川村もと江 (福祉事業部)
秋山めぐみ (地域活動事業部)
藤井 匡明 (福祉事業部)
新海みちる (公衆衛生事業部)
堀内真理子 (公衆衛生事業部)
中村ゆかり (公衆衛生事業部)
山梨学院大学学生ボランティア 4 名



・峡東支部

と き 平成 25 年 6 月 1 日 (土)
ところ いちやまマート塩山店
イオン石和店 計 2 カ所
内 容 ・ パネルシアター
・ 豆運びゲーム
・ Ca おやつ、麦の配布
協力者 上野 治美 (福祉事業部)
吉川 順子 (福祉事業部)
堀川 清美 (地域活動事業部)
前田 英美 (地域活動事業部)
河野 佳奈 (医療事業部)
寺井 佳子 (医療事業部)
深沢 水佳 (医療事業部)

・峡南支部

と き 平成 25 年 6 月 8 日 (土)
ところ 市川三郷町 市川大門町民会館 2 F
内 容 ・ 食育マットを使っのゲーム
・ エプロンシアター
・ 手作りサンプルを使ったカルシウム
量クイズ
協力者 加藤 由香 (医療事業部)
田中 典子 (福祉事業部)
柿島穂津美 (福祉事業部)



・富士・東部支部

と き 平成 25 年 6 月 1 日 (土)
ところ Q-STA
内 容 来場者への栄養相談
協力者 中村 益子 (地域活動事業部)
河南 洋子 (勤労者支援事業部)
鶴切 聖子 (医療事業部)



セミナー「牛乳を科学する」を開催しました

と き 平成 25 年 8 月 10 日 (土)
ところ ぴゅあ総合大研修室
参加者 ・管理栄養士、栄養士 60 名
・食生活改善推進員 97 名
・一般 26 名
内 容 牛乳についての機能や価値等の講演・パネルディスカッション
協力者 田草川憲男 (会長)
外川 泉 (学校健康教育事業部)
堀内美香子 (公衆衛生事業部)
辻 敏子 (研究教育事業部)
槇永 芽里 (勤労者支援事業部)
福永千賀代 (地域活動事業部)
堀込かづみ (医療事業部)
風間 智恵 (福祉事業部)
山梨学院大学健康栄養学部
学生ボランティア 3 名
山本 聖子 (事務局長)
小林 綾子 (事務局員)

食の安全・安心食育セミナーに協力しました

と き 平成 25 年 9 月 18 日 (水)
ところ かいてらす 大ホール
内 容 講演
「みんなが元気になる食育」
講師 管理栄養士
牧野 直子 先生
優良活動表彰、優良活動事例発表
協力者 田草川憲男 (会長)
山本 聖子 (事務局長)
小林 綾子 (事務局員)

いきいき山梨ねりんピックでの取り組み

と き 平成 25 年 9 月 28 日 (土)
ところ 小瀬スポーツ公園
内 容 来場者への栄養相談
協力者 田草川憲男 (会長)
半田 裕子 (学校健康教育事業部)
進士 瑞穂 (公衆衛生事業部)
関戸 元恵 (研究教育事業部)
橋住 輝幸 (勤労者支援事業部)
上條 加代 (地域活動事業部)
町田 真実 (医療事業部)
若狭 綾子 (福祉事業部)
山梨学院大学健康栄養学部
山梨学院短期大学食物栄養科

学生ボランティア計 9 名
山本 聖子 (事務局長)
小林 綾子 (事務局員)

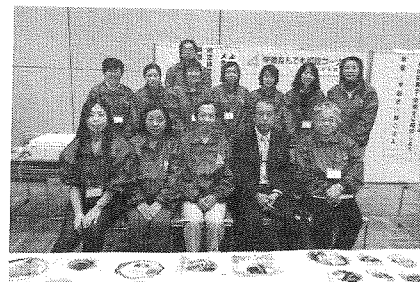


がんフォーラムでの栄養相談の取り組み

と き 平成 25 年 9 月 29 日 (日)
ところ 県立図書館
内 容 来場者への栄養相談
協力者 田草川憲男 (会長)
深澤 幸子 (副会長)
平井美樹夫 (医療事業部)
桂原由味子 (医療事業部)
田中 雪江 (医療事業部)
吉原 京子 (医療事業部)
小林 綾子 (事務局員)

山梨県民歯科保健のつどいでの栄養相談の取り組み

と き 平成 25 年 10 月 27 日 (日)
ところ アイメッセ山梨
内 容 来場者への栄養相談
協力者 田草川憲男 (会長)
深澤 幸子 (副会長)
平井美樹夫 (事業部長)
秋山真喜子 (学校健康教育事業部)
小池あゆみ (公衆衛生事業部)
三科 槇子 (研究教育事業部)
橋住 輝幸 (勤労者支援事業部)
立川 聖子 (地域活動事業部)
古屋 宏美 (地域活動事業部)
前田 英美 (地域活動事業部)
吉原 京子 (医療事業部)
村松 優子 (福祉事業部)
山本 聖子 (事務局長)
小林 綾子 (事務局員)



「JDA-DAT 災害支援研修会」参加報告

と き 平成 25 年 11 月 2 日 (土)
～ 3 日 (日)
ところ 仙台市情報・産業プラザネ！ット
内 容 日本国内外で大規模な地震、台風等の自然災害が発生した場合に、迅速に被災地の医療・福祉・行政栄養部門等と協力し、緊急栄養補給物資等の支援並び、多種多様な状況に適切に対応できる専門的知識と技術の育成を図るためのリーダー育成研修
参加者 藤原 瑞穂 (公衆衛生事業部)
武井さおり (福祉事業部)
田村 礼江 (福祉事業部)

県栄養管理研修会を実施いたしました

と き 平成 25 年 11 月 9 日 (土)
ところ ぴゅあ総合 中研修室
内 容 講演
「栄養管理に食事摂取基準をどう活かすか」
講師 湘南ホスピタル管理栄養士
山梨学院大学健康栄養学部
管理栄養学科講師 林 静子先生
事例発表
「給食施設における食事摂取基準の活用と課題」
座長 山梨学院大学健康栄養学部
管理栄養学科 准教授
藤井 まさ子 先生
発表者 黒澤 東江 (福祉事業部)
村松 優子 (福祉事業部)
田中 雪江 (医療事業部)
平井美樹夫 (医療事業部)
助言者 湘南ホスピタル管理栄養士
山梨学院大学健康栄養学部
管理栄養学科講師
林 静子先生



児童福祉施設におけるクッキング講座実施報告

と き 平成 25 年 11 月 9 日 (土)
11 月 16 日 (土)
ところ 勝沼市民会館 (9 日)
中央市玉穂総合会館 (16 日)
内 容 講義①
「食物アレルギーについて」
講師 山梨厚生病院小児科部長
池田 久剛 先生
講義②
「保育園栄養士に必要なもの」
講師 山梨学院短期大学 教授
田草川 憲男 先生
調理実習
スキムミルクを使ったメニュー
講師 高野 加恵
(福祉事業部) 9 日
望月麻里子
(福祉事業部) 16 日

県民の日記念行事での栄養相談の取り組み

と き 平成 25 年 11 月 16 日 (土)
17 日 (日)
ところ 小瀬スポーツ公園
内 容 来場した一般県民への栄養相談
協力者 < 16 日 >
田草川憲男 (会長)
小池 ゆき (学校健康教育事業部)
藤原 瑞穂 (公衆衛生事業部)
窪田ありさ (研究教育事業部)
橋住 輝幸 (勤労者支援事業部)
前田 英美 (地域活動事業部)
小林 貴子 (医療事業部)
高橋 夏美 (福祉事業部)
山梨学院大学健康栄養学部
学生ボランティア 5 名
山梨学院短期大学
学生ボランティア 4 名
山本 聖子 (事務局長)
小林 綾子 (事務局員)
< 17 日 >
田草川憲男 (会長)
芹澤 円香 (学校健康教育事業部)
三浦 ちせ (公衆衛生事業部)
織田 鮎美 (研究教育事業部)
天野江津子 (勤労者支援事業部)

長田 文江（地域活動事業部）
田中 雪江（医療事業部）
小泉 和子（福祉事業部）
山梨学院大学健康栄養学部
学生ボランティア 4名
山本 聖子（事務局長）
小林 綾子（事務局員）



出前栄養相談事業の実施の様子

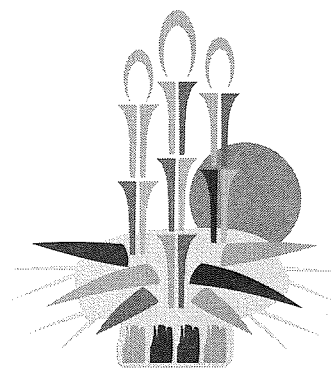
- ・児童館での取り組み
訪問した児童館 28カ所
協力会員 地域活動事業部員 各2名ずつ
内 容 エプロンシアター、野菜のイラスト
等を使用したゲームによる食育
- ・小規模事業所への訪問栄養指導
訪問した事業所 10カ所
協力会員 栄養士会会員 各2名ずつ
内 容 事業所職員に対する栄養相談



国民文化祭への参加協力の様子

- オープニングイベント
と き 平成25年1月12日（土）
ところ コラニー文化ホール
内 容 オープニング、開幕式典
出席者 田草川憲男（会長）
- 夏のステージオープニングイベント
と き 平成25年6月30日（日）
ところ 河口湖ステラシアター
内 容 オープニングパフォーマンス

- サマーカーニバル等
出席者 田草川憲男（会長）
- 総合フェスティバル（開会式）
と き 平成25年10月26日（土）
ところ コラニー文化ホール
内 容 開会式典、メインパフォーマンス
出席者 田草川憲男（会長）
- 総合フェスティバル（閉会式）
と き 平成25年11月10日（日）
ところ 富士五湖文化センター
内 容 閉会式典、メインパフォーマンス
出席者 河南 洋子（勤労者支援事業部）
- * 1月から閉会までの期間中、山梨県内各地でイベントが開催され、そのイベントの中で山梨学院短期大学食物栄養科 教授 依田 萬代先生が山梨の郷土食について発表展示を行いました。



厚生労働大臣表彰受賞おめでとうございます

厚生労働大臣賞を受賞して

研究教育事業部 山梨学院短期大学 根津美智子

この度は、栄養士養成部門として厚生労働大臣賞を賜りまして真に有難うございました。
山梨県栄養士会の諸先輩方や会員の皆様、またご推薦いただきました行政関係者のおかげと心より感謝申し上げます。

昭和50年4月より山梨学院短期大学に奉職して以来40年近くが経過しようとしています。

私は現在、大学の授業科目では栄養学各論、栄養学各論実習、調理の基本Ⅰ、子どもの食と栄養等を担当しています。学生が社会に出て、即戦力になれる栄養士の養成を力不足ではありますが目指してまいりました。卒後生が現場で、一生懸命働いている姿を校外実習の挨拶回りなどで拝見する機会がありますが、とても嬉しく頼もしく思っております。

本学は山梨県と平成21年度に「健康・栄養・食育」に関する連携協定を締結しました。県との様々な連携事業の中で現在私は、北杜市の耕作放棄地を利用した「あけの金時芋」並びに大和芋を利用した「冷凍大和芋」の販売促進を目指した取り組みを行っています。

あけの金時芋並びに芋粉を利用したお菓子作りでは、ゼミ学生を中心にレシピ開発やそれらの試食品を作り、山梨中央銀行主催の「やまなしマッチングフェア」などに提供しています。また、今年の「富士の国やまなし国文祭」にも2品の試食品を提供させていただきました。また、北杜市の特産品となった大和芋を県の後押しを受けた企業が、「すり卸し冷凍大和芋」に加工しています。そこからの依頼を受け、山梨県のスーパーや他県の生協及びナチュラルローソンなどでの販売促進を目指し、産・営・学連携のもと簡単にできる冷凍大和芋レシピを開発しています。

また、子どもの食と栄養関係では、「保育所における食物アレルギーの研究」に取り組んでします。今後とも微力ではありますが栄養士養成校の教員として精進してまいりたいと思います。今後とも皆様方のご指導・ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

厚生労働大臣表彰をいただいて

公衆衛生事業部 笛吹市役所 宮川 善美

この度、栄えある厚生労働大臣表彰をいただくことが出来ました。身に余る受賞に、私を支えていただいた多くの皆様のおかげと心より感謝申し上げます。

私は、昭和55年に境川村役場に就職しました。その当時はまだ市町村行政栄養士は、中道町、と須玉町にしかおらず、保健所の栄養士の皆様には業務の悩みの相談に乗っていただいたり、研修会に連れて行っていただいたり、大変お世話になりました。

昭和58年には、かいじ国体のため栄養改善推進員の増員が必要になり、村独自で養成講習会を行いました。今思うと栄養士になって3年目の新米の講義をベテラン主婦の皆様にしていただくと、とても信じられないことをしてしまったと恥ずかしい思いです。

その他、地域の公民館を巡っての料理教室や健康教室、検診説明会、また乳幼児健診など自分なりに、地域の皆様と健康な村をめざし、栄養士業務を行ってまいりました。

時代も流れ、今は人口72千人の笛吹市で、「笛吹市版食事バランスガイド」を活用しての食を通じた健康づくりを、同僚の栄養士とともに勤めております。

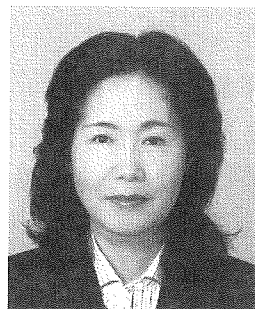
これからは、同僚の皆様他、多くの皆様に支えられながら、健康づくりの担い手の一員としてまた、複数配置となってきた、行政栄養士が益々活躍できるよう微力ながら、努力して行きたいと思います。



山梨県知事表彰受賞おめでとうございます

知事表彰をいただいて

研究教育事業部 藤井まさ子



この度は、大変栄誉な賞をいただき、誠にありがとうございました。

山梨学院に就職して 30 有余年が立ち、今さらながら時の立つのが早いことに驚かされます。同時に、これといって自信をもって「やってきました」といえるものが何もないことにも気づかされ、「もう少しペースアップしもっと勉強して、人の役に立つように頑張りたい。」と励まされたのだと思い、気持ちを新たにしています。

そもそも、どうして管理栄養士になろうと思ったのか。記憶をたどってみると、料理好きの母の影響か、「できれば一生働ける仕事がいい。管理栄養士もいいかも。」という安易な結論を出し、東京の大学に進学したのが 18 歳。その頃は、今日のように日常的に管理栄養士がテレビに出ることもなく、どのような仕事なのかよく知りませんでした。そこで、大学 1 年生の夏休みに、知りあいも紹介もないまま、山梨県立中央病院の栄養課に突如電話をして、「管理栄養士の仕事をみたことがないので、見せていただけますか。」と無謀なお願いをしました。今では考えられないことですが、個人の栄養指導を見せてくださいました。その時は、病院の栄養士になりたいと思っていたのですが・・・。

その後、短期大学に就職し、20 年以上校外実習の担当をしていた関係で、多くの管理栄養士・栄養士の方々にお世話になりました。この場をお借りしまして、お礼を申し上げます。

今は、山梨学院大学の所属となり、今年度初めての卒業生を管理栄養士として世の中に送り出すべく、同僚と日夜奮闘しています。また今、全国のあらゆる大学が、地域のための活動を通して学生を教育し、地域に貢献することが求められています。健康栄養学部も今年度は、災害時の栄養・食生活支援をめざしたレシピ作りにチャレンジしています。今後も微力ではありますが、少しでもお役に立てるように、「飽きず、焦らず、諦めず」頑張っていきたいと考えています。

知事表彰を受賞して

医療事業部 有泉 正子

このたび、平成 25 年度の健やか山梨 21 推進大会の席上において、栄養改善功労者として知事表彰を頂きまして、身に余る光栄に存じます。

これもひとえに、栄養士会の諸先生方のご指導や栄養士の仲間、又、職場の皆様のご協力のおかげと、深く感謝の気持ちでいっぱいです。

心より御礼申し上げます。

病院の栄養士として 40 有余年となりました。最初は、内科病院の栄養士として 10 年、現在は精神科の管理栄養士として勤めています。食べることが何よりも楽しみという、心の病をもった患者様に【心の栄養】をモットーに病棟訪問し、食事の内容、食べ方の指導、合併症のある患者様には、食事内容が理解出来るよう、手作りパネルを作成し、それを基にバランスのとれた食事の栄養指導を行っています。

寝たきりの患者様には、嚥食時、誤嚥を起こさないようスタッフと共に観察、確認しながら食時介助をしています。

又、精神デイケアのメンバー様に料理教室や栄養指導を実施して、スタッフと共にメンバー様の健康管理に心がけています。

又、毎年当院で実施される、文化祭では、地域の人達を対象に栄養相談コーナーを設けて健康管理や家庭における介護食の作り方等指導しております。

これからも、この度の表彰を励みに入院患者様は勿論な事、地域の人達との交流を持ちながら、栄養

士活動に参加して参りたいと思います。

今後とも、皆様のご指導、ご鞭撻下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

山梨県知事表彰を受賞して

特別養護老人ホーム 慈生園 小倉紀美子

この度は、栄養改善功労者として、過分なる知事表彰をいただき、ありがとうございました。ご推薦をいただいた山梨県栄養士会、峡南保健所関係者の方々をはじめ、多くの皆様のおかげと、心より感謝いたしております。

免許を取得して 35 年、働きはじめた頃はパソコンのない時代で、献立作成や栄養計算も効率が悪く、慣れない調理作業では壁にぶつかってばかりで、多岐にわたる栄養士の仕事は試行錯誤の連続でした。

長い間、仕事を続けてこられたのは、頼りになる先輩や仲間に出会い支えられたこと、栄養士会や行政の後押しがあったからこそで、感謝の気持ちで一杯です。

超高齢化社会となった今、課題はつきませんが、入所者、利用者様の「おいしかったよ」という一言を励みに頑張っていこうと思います。食を通して少しでもお役に立てれば幸いです。これからもご指導の程、よろしくお願いいたします。

受賞を機に振り返って

忍野村役場 堀内美香子

この度は身に余る栄養改善功労賞をいただきありがとうございました。

ご推薦いただいた富士・東部保健所及び県栄養士会関係各位をはじめ、忍野村役場職員、地区食生活改善推進員の方々・それ以外にもたくさんのサポートしてくださった方々に心から感謝申し上げます。

振り返れば、学校卒業後、初めての病院勤務後、忍野村で学校給食が始まるのがきっかけで、郷里の山梨に戻りました。近隣の学校給食としては遅い開始で、栄養士・調理員ともに初めてという環境で大変なこともありました。

その後、公立幼稚園としては、山梨県で初めての完全給食実施のために、幼稚園に異動となりました。学校給食時代には、小学校・中学校の共同調理場ということもあり、できなかった、アレルギー児はもとより偏食・食べ方の遅い子などに対するこまやかな個々の対応ができました。

50 歳になったときに、50 歳で管理栄養士の国家試験に合格したという人との出会いがあり、自分も受けてみようかなと思い、受験しました。おかげ様で合格し、管理栄養士の資格を取得することができました。

そんな折、平成 20 年度「特定健診・特定保健指導」の実施に伴い、保健部門に異動となりました。乳幼児から高齢者までの幅広い住民の健康にかかわる栄養指導や、食生活改善推進員会の養成講習、親子料理教室、健診事後栄養指導、訪問指導など多種多様な知識も必要となり、対象者の気持ちを引き出していく話術の必要性も痛切に感じています。

結びに、この賞を励みに、これからも自分の能力の維持・向上に努め、少しでも住民の健康づくりに貢献できるように精進していきたいと思ってます。

県知事表彰を受賞して

公衆衛生事業部 新井 孝子

私は、この度栄養改善功労者として表彰して頂いたことに恐縮しております。

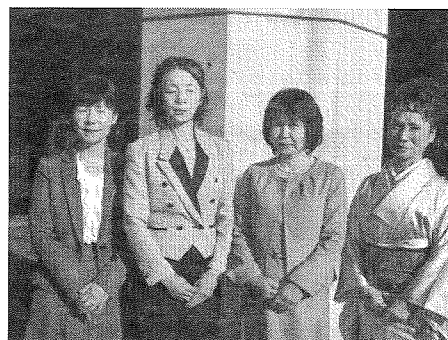
栄養士として働いた 39 年間を振り返りますと、保育園・病院・福祉施設・中学校そして市役所とご縁あって多くの方々と出会い、多くのことを学ばせて頂き、栄養士として育てて頂きました。ですからむしろ私は、その方々に心から感謝し、“功労賞”を差し上げたい気持ちでいっぱいです。

特に今回、食生活改善推進員地区組織として表彰された甲州市食生活改善推進員会の皆様には、私の市役所での仕事を 12 年間にわたり寄り添い支えていただきました。その中でも、子どもも大人も簡単

に食事のバランスがわかるツール「塩山式手ばかり」をともに開発し、市民の食生活のガイドラインとしてともに推進してきたことは、何にも代え難い経験となりました。

よく「食は心身の健康づくりにとって大切なもの」といわれますが、食は日常生活の一場面であるだけに、思うことと実際が乖離する経験は誰もがするところです。でも、“ちょっとした知識”で「自分にとって望ましいイメージ」が何通りも描けることが出来たら素敵です。「てっ！ほうけ」こんな言葉を相手から頂くと伝えた側も元気になれる、そんな体験を「塩山式手ばかり」を通してたくさん頂いた私は幸せものだと思います。その意味において、甲州市食生活改善推進委員会と同日に表彰していただいたことが何よりうれしく、そのように取りはからっていただいた関係者の方々に心から感謝申し上げます。

末筆になりますが、栄養士の後身の皆さんにいっぱい失敗を重ねた先輩としてお伝えしたいのは、『失敗をおそれずに、いっぱい失敗をしてそれを糧にして下さい』ということです。今ある状況から予想もしなかった状況になったら勇気を持ってそれを受け止めると“今までは見たこともない世界”が広がり、違った見方が広がるチャンスがそこにあります。"Think globally, act locally"

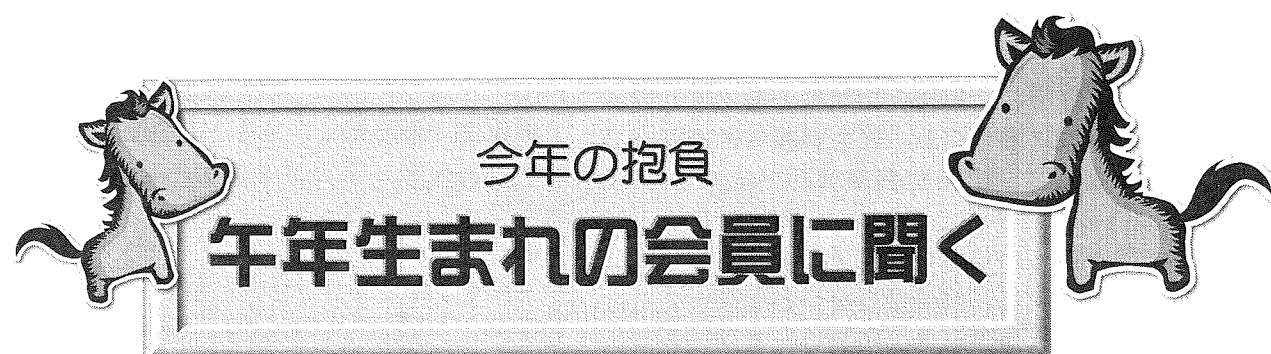


日本栄養士会会長表彰受賞おめでとうございます

受賞者の皆様

と き 平成 25 年 9 月 11 日 (水)
ところ 神戸国際会議所 (全国栄養士大会)

中村恵美子	公衆衛生事業部	甲府市保健センター
杓川 洋子	公衆衛生事業部	中北保健福祉事務所峡北支所
渡邊 公江	公衆衛生事業部	富士河口湖町健康増進課
深澤 早苗	研究教育事業部	山梨学院短期大学
小澤與志美	地域活動事業部	
保坂佐雅子	医療事業部	井上内科小児科医院
鷹野みどり	医療事業部	サンワフーズ株式会社
岸野 真見	福祉事業部	
川村もと江	福祉事業部	南岳荘特別養護老人ホーム
井上さなえ	福祉事業部	富士川町役場
原 崇子	福祉事業部	介護老人保健施設はまなす



今年の抱負

地域活動事業部 柴田佳代子

今年、管理栄養士養成校を卒業し、山梨に帰郷してきたばかりです。それから現在まで、最も大きく感じた事は、日々、栄養学というものは進歩を続けているという事でした。特に、9月の終わりに日本公衆衛生学会総会にて様々な講演や、発表を聴いた際、日本栄養士会雑誌を始とする様々な書籍を読んだ後にはそう感じました。

1年にも満たない短期間でさえ感じた栄養という分野の日々の進歩というものに対し、アンテナを高く伸ばして遅れないようにしていければと思います。

午年生まれの私

地域活動事業部 古屋 洋子

午年生まれの方は、“健康で大人好し”の風評があるようですが、私の場合は当てはまっています。

現在、高齢者の弁当作りを続けて、20年余になります。献立作成、栄養計算をして原稿を作ります。週3回実施していますが、調理、コーディネーター、配食ボランティアでやっています。約百名が関わっていて、賛助金を出して下さる方もいます。弁当配食も自費でして下さるので、利用者は1食五百円で届くので、喜んでます。他に会の行事として、ふれあい訪問、ふれあいサロン、調理講習会、ボランティア交流会、野外交流会、衛生研修会等を行っています。カトリック教会でホームレスの人達にボランティアで食事を週1度提供していますが、当会でご飯を炊いています。会の活動は運営委員会を中心にして、コーディネーター会、献立委員会、機関誌“だいこんの花”を発行しています。私は献立作成や調理関係の事務をしたり、調理指導をしながら、ボランティアの皆様と弁当作りをします。台風や雪の日もありましたが、配食を休んだ事はありません。

私の趣味は歌が好きなので、合唱団や教会の聖歌隊に入っています。健康で、友人や家族と仲良く暮らしています。

老健の栄養士として これからの抱負

福祉事業部 山里 瑠美

新年あけましておめでとうございます。栄養士という職に就き、気が付けば15年が過ぎました。現在は老人施設に勤務し9年目に入っています。人生の楽しみの1つとなる食事は、できるだけ制限は少なく、入所者様に満足して頂けるような、食事を目指しています。入所者様から「おいしいよ」「この食事は最高だよ」などの声を頂くと、うれしく、仕事への活力も増してきます。

高齢者の大半の方は、疾患の要因に栄養状態が関わる事が多くあり、栄養士の介入が重要となっています。今まで得てきた知識をフル活用して業務に当たっていますが、まだまだ未熟な面が多く、多様化する問題に日々悪戦苦闘しています。

今後は団塊の世代が高齢者に移行する、超高齢化社会が始まり、在宅への復帰を目標としている老健のあり方が変わってくることが予想されます。その中で高齢者の栄養ケアも、今以上に個別対応、個別ケアが重要となってくるでしょう。当施設ではR4システムを導入しています。今までも多職種共同で栄養ケアに努めてきましたが、このR4システムの導入により、入所者様・ご家族様のニーズを核としたケアが全職種参加で出来るようになりました。老健の栄養士として、より良いケアができ入所者様の要望にできる限り寄り添い、生活の質の向上の手助けができるよう、今後も励んでいきたいと思っております。

栄養士・管理栄養士として栄養業務に

かかわって52年

研究教育事業部 遊佐 渚

52年前栄養士の免許を取得し、神奈川県庁に就職して、国民栄養調査、キッチンカー、栄養教室、料理講習会、栄養相談、イベントなど県内の地域を飛び回っていたことが思い出される。その間、管理栄養士の試験に合格して登録。その後、山梨の地に根をおろし、山梨県栄養士会に所

学校健康教育事業部

食育を推進するために

学校健康教育事業部長

ろう学校 萩原久美子

偏った栄養摂取、朝食欠食など食生活の乱れ、肥満・痩身傾向など、子どもたちの健康を取り巻く問題は深刻化しています。食について様々な価値観や情報が氾濫している中で、正しい知識と判断力を身に付けることは重要です。

学校では、学校給食を「生きた教材」として活用した給食指導や、保健体育や家庭科など教科の中で食育の視点を生かした指導が行われています。また、総合的な学習の時間の中で地域と連携したり、親子料理教室や農業体験学習を実施するなど、様々な形で食育が行われています。

このような中で、私たちは日々検討を重ねなが

公衆衛生事業部

「低出生体重児に関する取り組み」

公衆衛生事業部長

富士・東部保健福祉事務所 相原 恵子

今年度は、昨年度に引き続き「低出生体重児に係る研修」を実施しています。

昨年12月に開催した早稲田大学の福岡教授の講演から、山梨県の低出生体重児出生割合は恒常的に全国値より高いこと、また、次世代の健康を確保するために、成人病胎児期発症説の視点から胎生期の影響を理解した食育啓発が必要であることがわかりました。

こうしたことから、低出生体重児出生割合の低下に向け取り組むこととし、福岡教授からアドバイスをいただけることにもなり、保健所と市町村の代表によるプロジェクトチームを設置して、活動を開始しました。

今年度の取り組みは、“県の低出生体重児の出生状況を経年的に再度把握し、関係者へ周知していく”ことです。その一環として、県内市町村の人口動態調査に関し厚生労働省に目的外申請を行い、平成10年から24年のデータを入手しました。また、栄養士配置市町村の低出生体重児出生状況把握調査結果を取りまとめ、公衆衛生学会で発表しました。

変わらない給食の味

福祉事業部 安部 有香

保育園で働き始め、4年が経ちました。子供達の喜ぶ顔を思い浮かべながらメニューをたて、調理師さんと2人で給食とおやつを作っています。

調理師さんは39年勤務している大ベテラン。「1つ手間をかけることでおいしさは変わる、その1つの手間が大事」といつも言っています。卒園した子供達が「やっぱり保育園の給食がいい」と言ってくれるのは、今までずっと変わらず保育園の味を守ってくれたその先生のひと手間があるからだと思います。その先生には、時には厳しく指導をいただき、給食のことだけではなく、一人の人間としても教えてもらう事ばかりです。山本五十六の言葉が大好きで、本や映画も大好きでたくさん話をしてくれます。いつも相手が今どんな気持ちかということを常に考え、悩んでいるとそのちょっとした変化に気づき、心配してくれたり、一緒に考えてくれたりもします。そんなお母さんのような存在で愛情のある先生と一緒に働けていることや、毎日子供の笑顔が見られたり、成長を喜べたり、一緒に感動できるこの仕事に幸せを感じています。

今まで作り上げてきた保育園の給食を大事にし、私もその先生のように子供達の心にずっと残るような給食を作っていくことが目標です。

今年の抱負

勤労者支援事業部会員

私の仕事は主に弁当やおかずを販売する惣菜係です。入社して今年で4年目になりますが、まだ自分で惣菜を創作することが出来ず悩んでいます。周りの方や、同じ栄養士である先輩の料理を傍目で見つつ、自分でもちゃんと値段が付けられるものとして何か商品を創ることが今の一番の目標です。今は主にお弁当を担当しているのでお弁当関係のモノを創りたいと考えています。客層は幅広いですが、高齢者の方が6割くらいを占めているので油っこい肉系のお弁当よりも魚系のお弁当が人気です。魚にはDHAやEPAなど血液をサラサラにする不飽和脂肪酸が含まれているので栄養面からみても良いと考えています。この二つの不飽和脂肪酸はまぐろ、さんま、さば、いわし、あじ、かつお、ぶりなどに特に含まれています。お弁当には生ものは使えないので鉄火丼とか新鮮な海鮮丼とかが出せないのが大変です。なので、さんまやさばを使って照り焼きとか煮付けなどをお弁当に活用したいと考えています。まだまだ季節行事で忙しくなりますが、お魚弁当が無事出来るように頑張りたいと思います。

属して、地域活動事業部員として地域県民の健康管理の支援をしてきた。その間栄養士会事務局に席を置いて、本会の活動強化、栄養士会以外の関係機関との連携に取り組み、厚生労働省の補助金事業の一つとして「山梨版食事バランスガイド」の作成に係ったときはもうすっかり山梨県民となった。日々新しい知識をアンテナを高くはってキャッチしていかなければならないと痛感している。現在は研究教育事業部に所属し、食品技術研究会で学びつつ、調理師養成施設において、健康と栄養にかかわる専門職として「食を考える」知識を、これから社会に活躍していく調理師の卵の学生達に、若いパワーをもらいつつ、講義をおこなっている。52年の間、色々な場面での栄養業務の活動ができ、多くの人々との出会いが自分自身の宝物となっていることを強く感じる72歳である。好奇心を失わず、新たな発見をすることこそがけて自己研鑽していきたい。

「患者さんの気持ちに寄り添い 支援できる栄養士を目指して」

山梨大学医学部附属病院 栄養管理部 岩間 梨歩
新年明けましておめでとうございます。

昨年4月から、新たに山梨大学医学部附属病院栄養管理部の一員として職務に就いております。栄養士の先輩方をはじめ、調理師、事務の方、医師、看護師、その他コ・メディカルの先生方に沢山のお教えとお力添えをいただきながら、日々の仕事に励んでいる毎日です。皆様には心より感謝申し上げます。

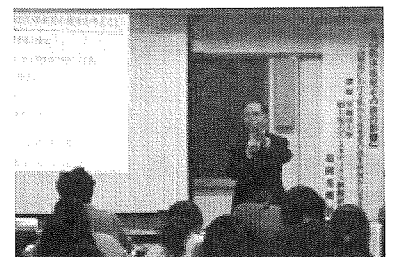
現在、私は入院患者さんへの病棟ラウンドと病院食の説明を主な業務として行っております。昨年の5月下旬より取り組みはじめ、病棟ラウンド数は1,000件を超えました。これは以前から私が希望しておりました患者さんと直接的に関わる業務ではありましたが、患者さんとの会話は想像していたよりも難しく、ラウンドを重ねていけばいくほど、自身の発言の重さと各疾患に対する専門性を兼ね備えておくことの必要性を実感しております。

私にはかねてから目標とする病院栄養士像があります。それは、「患者さんの気持ちに寄り添い支援できる栄養士」です。入社して約9カ月。すぐには理想の栄養士になれるものではありませんが、その目標に少しでも近づけるよう、いつのときも患者さん目線で考え、患者さん主体の姿勢を忘れない栄養士でありたいと思っています。

低出生体重児の出生原因については、母体側・子ども側からの様々な要因を考えなければならず、その為には県内の母子保健従事者が、最近の知見を認識し、県内の現状から「妊産婦や乳児をどのように支援したらよいのか」を考えていくことが大切です。そこで、11月には「低出生体重児のその後の影響」をテーマに、福岡教授の講演会を開催し、大勢の母子保健従事者に出席していただきました。

この取り組みは、関係者が一丸となり、妊婦の健やかな胎内環境で胎児が育つよう支援する必要がある、特に栄養環境について栄養士の果たすべき役割は大きいと考えています。今後も、取り組みを一層充実させていきたいと考えており、これらの活動内容は、ニュースレターとして、行政栄養士に随時配信し情報を共有しています。

また、本年3月に「行政栄養士業務指針」の改正を受け、その勉強会を開催しており、指針に沿った活動ができるよう、会員其々が日々努力しているところで



研究教育事業部

栄養士・管理栄養士は確かな食品表示に関する情報共有を！！ ～ 27 年度には栄養成分表示も大幅な見直しに～

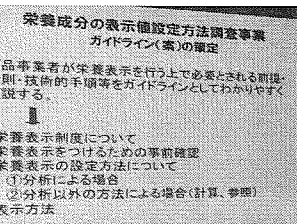
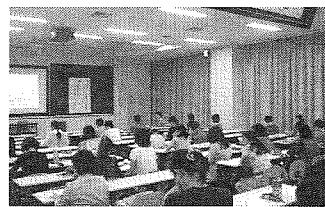
研究教育事業部長

山梨学院短期大学 中川 裕子

本年度の研究教育事業部は、山梨県がブロック研修会担当県ということで、関東・甲信越・京浜ブロックと東京都栄養士会（研究教育・公衆衛生・学校健康教育事業部）との合同研修会として企画し、8月31日（土）に東京家政大学（板橋キャンパス）で開催しました。当日は、本県からは事業部会員9名と山梨学院短期大学学生6名が参加し、「日本における食環境の現状と課題」というテーマで、消費者庁・食品表示調査官の塩澤信良氏より、2013.6.28 食品表示一元化法案の公布に伴う、タイムリーな食品表示・栄養成分に関する具体的概要を講演して頂きました。また、パネルディスカッションでは、「今後の食品表示の在り方」として、栄養表示の義務化に向けての具体的な環境整備やアミノ酸組成を中心とした栄養表示における問題点を伺え、大変有意義な研修会でした（写真1・2）。平成27年6月には新しい食品表示制度の基本的な考え方のガイドラインが打

ちだされる予定ですので、栄養士・管理栄養士として、食品を摂取する際の安全性にも配慮し、食品選択の際に、確かな情報をもって、栄養ケアプロセスに立ち会えるようにしていきたいです。

昨年度に引き続き今年度も、牛乳を科学するセミナー、ねりんピック、県民歯科保健のつどい、県民の日、栄養業務研究発表会といった事業・イベントにも参加し、若手の研究教育事業部会員を中心に積極的な取り組みを進め、県民の食品摂取や、栄養の現状を実感できる機会としています。今後も、研究教育事業部は、多職種との連携を行い、地域の食に関する関心を深め、県民の皆様の食生活改善に積極的に関わっていけるよう、活動していきたいと思っています。



勤労者支援事業部

様々な分野で仕事をしています。

勤労者支援事業部部長

公益財団法人キープ協会 大柴 由紀

会員数50名弱の勤労者支援事業部ですが、今年度は会員の皆さんが幅広い分野（施設）で働いていることを強く感じる年でした。事業部の名前どおり、事業所給食が活動の主ではあります。企業や事業所給食の栄養管理、働く社員への啓蒙活動が仕事の中心となっています。2013年度は年明け1月初旬にこのテーマを中心とした研修を行います。

しかし、栄養指導の対象は社会人に限りません。大学の寮、ホテル、食育を推進する企業でのレシピ開発や販促活動など、様々な分野で管理栄養士、栄養士として働いています。中では国体選手のサポートやスポーツ指導者の方に指導を行っている会員もいます。スポーツをしている子どもさんをお持ちの保護者、選手に対して講演を行ったり、数チームの栄養サポートを行っていらっしゃるそうです。

今年も昨年に引き続き全国勤労者支援事業部ネットワークに参加し、全国の状況をうかがうことが出来ました。行政と協力しながら一般公開して積極的な研修を開催している県もありました。しかしこの県も人手不足や会員分散の悩みを抱えつつ、少しずつ歩みを進めているといった印象でした。

私達山梨県の勤労者支援事業部も、状況はよく似ています。しかし、それぞれの会員に専門性があり、仕事内容・指導の対象が非常に幅広いということは、逆に財産ではないかと考えるようになりました。違った側面から見れば、会員同士の情報交換が出来るようになればとても心強いのではないのでしょうか。

新しい年が始まりました。今年は「出来ることから少しずつ。」を念頭に会員同士のネットワークをつくっていききたいと思います。

地域活動事業部

活動報告

地域活動事業部長

立川 聖子

今年度の活動は

1. 出前栄養相談事業（児童館での食育事業）

県下27か所の児童館へ出向き（7月から1月まで）幼児と保護者・学童への栄養相談を行いました。今年度のテーマは「たのしく食べてからだも元気！！」で各担当の創意工夫の内容で各種の媒体を駆使して、指導者も楽しく出来ました。特に今年は中堅の会員の気持が高揚し資料づくりに何回も検討して下さり誰にでもわかる楽しいリーフレットが出来て参加者に配布すると好評で「また来て下さい」のお声が掛かり良い結果が得られました。

年間を通しては甲府市「街なか健やかサロン」（会場岡島百貨店6階）で不特定の幼児から高齢者に対して（生きることは食べること）について毎月の主題にそって食育活動を行っております。成人には糖尿病についての食事の相談にのって居ります。

2. 栄養士会の事業にも及ばずながら参加させていただき他の職域の会員との交流もあり有難く思います。「山梨県歯科保健のつどい」ではミニ講座の時間をいただき新しく手作りしたエプロンシアター「やさいだいすき」で野菜は土の中や木に成って大きくなり私たちの役に立ってくれること、食事の後は歯磨きを忘れない事を子どもたちと学びました。

3. 研修会 会員で起業してクッキングスタジオと素敵なお店を開いている管理栄養士さんが居られることを知り、峡東支部会員の企画で材料は総て自家製でスイートポテトづくりの体験と楽しいランチの会を実施することが出来て大変うれしかったです。

4. 栄養士会「栄養ケアステーション」への参加 管理栄養士が特定保健事業に関わるCSに従事出来ることは各自のスキルアップにもつながる事ですので今後益々自己研鑽することで活動の場を広げて行って欲しいと願っております。

医療事業部

頑張りました！！

平成25年度 医療事業部

医療事業部長

深澤 幸子

今年度は、年度当初の報告会から3回の連続研修会まで、いま取り組まなければならない重要事項について研修会を開催いたしました。

報告会では、在宅医療に関して管理栄養士として積極的に関わり、実績を積んでいる町田真実管理栄養士から「～病院から在宅へ～牧丘病院で行っている訪問栄養指導について」の実践報告をしていただき、有意義な勉強の機会になったと思います。

3回連続研修は「山梨学院大学 健康栄養学部 管理栄養学科の林 静子先生」のご指導の下IPW＜多職種協働による実践＞に関する学習と「在宅で有効利用できるサマリー作成」を目標に仕事終了後の19:00～びゅあ総合に、部会を越えた会員が集まり学習しました。

また、とても重要な「嚥下ピラミッド」により、実際に私たちが使用しているゼリーなど「試食など含めた実際の学習」ができたことも素晴らしいことでした。

栄養サマリーに関しては、林先生のご助言によりわかりやすく、書きやすい様式をたたき台として見せていただき、山梨県バージョン作成するに至りました。

「公社 山梨県栄養士会 医療事業部」作成 訪問栄養指導サマリーを今年度の成果物とする事が出来ました。

なかなか、栄養サマリーは使い道がないようですが、様式ができていて県内全域で安心して使えることにつながるのではないのでしょうか？

また、9月には「山梨県がんフォーラム」への協力を行いました。これは山梨県栄養士会への依頼のあった事業への協力でした、過去6回おこなわれていた事業で、医療事業部会員の協力で第7回目にして初めて「栄養士会」の存在をお知らせすることができました。

がん栄養サポートも、これから私たちが担っていかねばならない事と思っています。ブースを出し、来場者の皆様に認知していただけた事をうれしく思いました。

12月には、がんチャリティーコンサートでも栄養士会として協力し「食の何でも相談」ブースを出して栄養士会のアピールをしています。

訪問栄養指導への関わりも、山梨県、中北保健所、富士・東部保健所と医療連携の会が発足しており、内容がやはり臨床に関わることが多いので医療事業部会員の協力でマニュアル作成など積極的に参画してきました。

こちら「想いのマップ」へ、管理栄養士・栄養士ができることを掲載していただき問い合わせ先も事務局を明記していただきました。

今年度は、2月に関東甲信越ブロックリーダー研修会が予定されており、講師に、三重大学 岩

田先生をお招きし「肝臓の栄養治療」と、トピックスとして改定された糖尿病治療のための交換表についてもご講演をお願いしました。

多くの方のご参加をお待ちしています。

医療の現場にあって、福祉施設や在宅への連携なくして私たちの業務は完結しなくなっている今です！！

！！井の中の蛙にならないよう、平成26年度に繋げていきましょう！！

福祉事業部

活動報告

高齢・障害担当

介護老人福祉施設 コスモ 守屋喜久代

今年度は、施設に於いて栄養士業務を実施するうえで必要となる基本的知識や技術を習得する研修を実施しています。

5月24日(株)フードケア・(株)マルハチ村松さまより、利用者様に咀嚼や嚥下障害があっても、安全でおいしい食事の提案と最新情報について研修しました。

トロミ調整剤使用方法や、美味しい出汁の活用等を再認識しました。

10月18日、樋口幸司医師より「高齢者の疾患

と生活機能障害」について研修しました。難しい高齢者医療についてわかりやすい説明で、利用者さまの全身状態や環境等にも配慮したケアの必要性を学びました。また、会員からの日ごろの疑問等にも答えていただきました。

11月行われた日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)リーダー育成研修に2名の会員が参加しました。災害時における栄養士の役割等について1月17日伝達研修を行う予定です。

日本栄養士会福祉事業部開催の、個々の栄養士のスキルアップのキャリアパス研修にも多くの会員が参加しています。

期待に応えられるよう会員の皆様と一緒に進んで行きたいと思っています。

活動報告

児童担当

市川三郷町立三珠保育所 土橋きく江

平成25年度の児童では、「健やか親子21事業」として「児童福祉施設におけるクッキング講座」を開催することが、メインの事業となっています。

4月から日時、場所、メニュー、講義内容など準備を始め、11月に2回無事開催することができました。

・6月8日 総会及び研修会

「乳幼児の食べ方の発達と栄養士の役割」

昭和大学 歯学部 名誉教授 向井美恵先生

「おいしい食べ方を教えてください」をキーワードに、食べ方の発達過程を理解し、発達を促す支援を行うことが大切だと講演をしていただきました。

・11月9日及び16日 クッキング講座

午前

「スキムミルクへの理解を深める」と題し、スキムミルクを使ったメニューの調理実習

午後

「アレルギー疾患の理解と対応について」

山梨厚生病院 小児科 池田久剛先生

「保育所栄養士に必要なもの

～「健やか山梨21(第2次)から～」

山梨学院短期大学 食物栄養科 教授

田草川憲男先生

池田先生には、近年増えている食物アレルギーに関する最新情報と現状、対応方法などとても貴重なお話をしていただきました。

田草川先生には、「健やか山梨21(第2次)」からその内容と、栄養士としての心構えなど、とても楽しくお話していただきました。

今後も会員同士の親睦を深めつつ、資質向上につながる研修会を計画していきたいと思っています。

こんにちは

～給食委託会社勤務の会員から～

株式会社メフォス

「お客様の安全・安心のために」

三澤 未歩

株式会社メフォスは設立50周年を迎え、お客様の安全・安心をモットーとしたお食事を提供しています。

私は今年4月に入社し、介護老人保健施設で働いています。食事の形態はご利用者様に合わせて、主食はご飯、軟飯、全粥、粥ミキサーがあり、副食の献立は二本立てになっており、基本献立は、普通、ひと口大、きざみ、極きざみがあり、ソフト食献立は、ソフト、ミキサー、ゼリー食があります。当初は、きざむ時にどのくらいの大きさに切るべきなのか、とろみをどのくらいつけたらいいのか、分かりませんでした。

た。切り込みも、切り方、大きさなど、聞きながら作業し、時間がかかってしまいましたが、献立に合わせて切れるようになりました。

切り込みから始まり、調理、盛り付け、配膳、下膳、洗浄とやっている作業は別々でもみんな協力し、安全な食事をを作りあげるやりがいと、喜んでもらえるような食事を提供しなければならない責任を感じています。

今後は一つひとつの作業を効率よく出来るように、多くのことを早く吸収し、仕事ができるようにしたいです。

ご利用者様の「いつもありがとう」という暖かい声掛けを励みにして、これからもみなさまの笑顔のために日々進歩していきたいと思っています。

シダックスフードサービス(株)

管理栄養士 前田美登里

シダックスフードサービス(株)は「努力・還元」の精神を基とし、食を中心とする事業を通じ、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層の人たちに「母なる地球が育んだ、豊かな大地と海の恵み」を母親のように真心をこめてお届けし、「食べること」を通して喜びと健康を与えることを、企業理念にしています。

私の勤務先は病院であるため、食事を楽しみにして下さる患者様が多くいます。行事食やイベント食、また季節の食材を使用した献立を作成し、一般食・治療食を提供しています。

毎月1回行なわれる行事食では、その月の行事に合わせたメニューの構成、またテーマを設定し食事の提供を行なっています。市制祭の行

事メニューでは、市内産の食材を献立に多く取り入れ、食事の提供を行ないました。いつもの食事では提供していない物もあり、患者様からは喜びと感謝の声が聞かれました。また、お手紙もいただき、従業員の励みになっています。様々な御意見を通して、これからも患者様の満足に繋げていきたいと思っています。

マネージャー以下、管理栄養士、栄養士、調理師、調理員、洗浄員が、それぞれの立場で、それぞれの責務を果たし、日々、安心・安全な食事の提供を心がけています。

また、病院栄養士の方々とも協力し、チーム医療の一員として、適切な栄養サポートに努めていきたいと思っています。

私がんばっています

◆ 地域活動事業部会員の堀川清美さんの記事が「山梨の園芸」9月号に掲載されました！



おいしいモモづくりに励む清美さん

清美さんの周りには、ベテラン農家が大勢いるので、栽培技術でわからないことがあれば親身になって教えてくれるという。

「近所の人たちは、熱心にモモ栽培に取り組んでいます。よく質問しに行くのですが、ていねいに教えてくれるので助かります。私だけだったからできなかったと思います。地域の方が支えてくれるので感謝しています。」

「趣味」と話してくれた。

清美さんは、秋から冬にかけて月に二回ほど、近所の銅版画教室に通い、一年に二作品つくっているほか、料理教室にも通っている。

「料理教室では、農業経験のない人たちに、モモづくりの話をすると、そんなにいろいろな作業があるとは知らなかったと驚いていました」と、さまざまな人と交流することが好きなのだそうです。

今後挑戦したいこと

管理栄養士の資格をもっている清美さんは、それを生かしたことも挑戦したいという。

「将来は、農業経験や体験を生かして、食育活動を展開できるという目標です。」

(まとも、佐々木)

山梨の園芸 2013.9

〈連載〉兼業農家の奥さん
奮闘する!! かあちゃん

甲州市・堀川清美さん (四九歳)

厳しい夏の暑さは、九月になると若干和らぐが、気温の急激な変化は体調を崩す原因となるため、十分留意したいところである。

さて、今回は甲州市塩山にお住まいの堀川清美さんを紹介する。

就農経緯

清美さんは、果樹農家の三姉妹の次女である。

短大を卒業し、結婚後は、ご主人の仕事の都合もあり、県外で生活していたが、一六年前に夫婦の故郷に帰ることを決意した。

帰郷にともない、家の建築を考えていたところ、清美さんの父親のご厚意もあり、畑の一部を譲り受け、そこに家を建てることになった。

当初は、会社勤めをしながら両親を手伝っていた清美さんだが、六年前から本格的に就農した。

経営内容

モモ専業で、栽培面積は一ha(ちよひめ、日川白鳳、みさか白鳳、白鳳、一葉白桃、浅間白桃、なつこ、川中島白桃、ゆうぞら、黄金桃、さくらんぼ)で、そのうち三〇aほどは未成園である。

主な労力は、ご本人と父親である。最近では、ご主人も早朝や休日に手伝ってくれるという。

翌日の作業内容については、毎夕、清美さんが近所に住む父親のところへ行き、話し合いをして決めている。父親とぶつかった就農時

現在では、父親と二人でうまくやっているが、就農当初は意見がぶつかることも多かった。

「私は、作業効率を考え、軽トラツクが圃場に入れるくらいに栽培距離をとりたかったのですが、父は猛反対でした。少しでも収量を減らしたくないと思っていたのでしょうね」と、そのときのエピソードを語ってくれた。

また、なかなか仕事を任せてもらえなかったという。

「防除作業は、私が父に教えてほしいとお願いしてもなかなか任せてもらえませんでした。しかし、昨年、スピード・スプレーヤーを買ったのをきっかけに、私がやるようになった」と話してくれた。

「父は、八五歳でも現役で農作業をしていて、モモの作業のほかに、草刈り作業は今年もすべてやってくれました」と父親に感謝している様子であった。

モモづくりの師匠

すね。県内外の人たちにモモづくりの実情を知ってもらったり、モモや野菜など、地元食材を使ったレシピの紹介をしたいと思います。まだまだそのようなことに取り組む余裕はありませんが、いつかはできればいいと思います」と話してくれた。

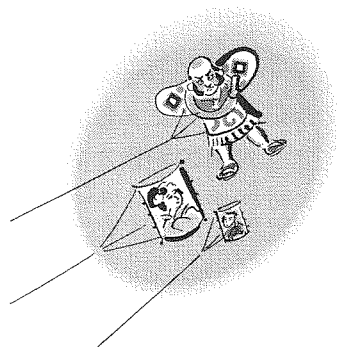
関係機関への要望

「農家が安定した収入を得られるようなシステムができてくれたら嬉しいですね。炎天下の中、必死に作業をしている近所の方々を見て、その一生懸命さが報われたらいいと思います。また、そういった現場を見て農業に関する政策を計画してほしいです」と農家が安定した収入を得られることを望んでいた。

「春には、素敵なモモの花を見ながら仕事ができるなど、果樹農家の魅力はたくさんありますね」と話してくれました。これからも大切にしたい、おいしいモモづくりに励んでいきたい。

山梨の園芸 2013.9

- 62 -



新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

公益社団法人 山梨県栄養士会 役職員一同

役職名	氏名	勤務先名
会長	田草川 憲 男	山梨学院短期大学
副会長	遊 佐 渚	秀峰調理師専門学校
	深 澤 幸 子	あきやま医院
部長・理事	総 務 部	相 原 恵 子
	事 業 部	平 井 美樹夫
	学 術 部	中 川 裕 子
	組 織 部	堀 口 一 美
	広 報 部	立 川 聖 子
地域事業部長・理事	学校健康教育	萩 原 久美子
	公 衆 衛 生	相 原 恵 子
	研 究 教 育	中 川 裕 子
	勤 労 者 支 援	大 柴 由 紀
	地 域 活 動	立 川 聖 子
	医 療	深 澤 幸 子
	福 祉	堀 口 一 美
支部長・理事	中 北	武 井 さおり
	峡 北	秋 山 めぐみ
	峡 東	吉 川 順 子
	峡 南	柿 島 穂津美
	富 士・東 部	鶴 切 聖 子
理事	公 衆 衛 生	堀 内 美香子
	地 域 活 動	福 永 千賀代
	医 療	小 林 貴 子
	福 祉	守 屋 喜久代
	福 祉	土 橋 きく江
監 事	齋 藤 正 治	
監 事	大 森 光 子	大森・中込税理士事務所

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

平成26年 元旦
 公益社団法人 山梨県栄養士会 賛助会員 (順不同) 平成26年1月1日現在

社 名	電 話	担 当	業 務 内 容
エ コ ア 株 式 会 社	055-241-1755	相 川 秀 樹	防鼠害虫駆除
和 泉 産 業 株 式 会 社	055-222-1153	高 石 俊 二	食器、厨房機器
上 田 屋	055-266-2331	上 田 昭 雄	ソフクリーン、もずく
大 塚 製 薬 甲 府 出 張 所	055-276-8581	村 上 裕 之	ポカリスエット、ネイチャーメート
オ ギ ノ 食 糧 (株)	055-222-5181	深 沢 千恵子	給食材料
(有)オズプリンテイング	055-235-6010	丸 山 健	印刷、出版、紙工
(株)三和化学研究所甲信支店	0263-36-1771	中 山 清 高	医療用食品の研究開発・販売
甲 信 食 糧 (株)	055-273-4561	入 倉 斉 二	食品材料卸
シ キ シ マ 醬 油 (株)	055-273-6844	小 林 秀 男	醤油、減塩調味料、ジャネフ製品
信 濃 化 学 工 業 (株)	0262-43-1115	営 業 部 上 野 清 登	食器、トレイ
(株) テ ン ヨ 武 田	055-266-5251	深 沢 正 道	醤油、給食材料
(株) 日 新 厨 房 企 画	055-273-3881	杉 本 哲 史	厨房設備の企画・設計・施工管理、厨房機器販売、修理・保守点検管理、厨房に関する相談業務
(株) は く ば く 管 理 本 部	0556-22-8989	興 石 修	麦の総合食品メーカー、「骨太家族」
宮 坂 醸 造 (株)	055-241-8181	中 澤 等	味噌
湊 與 (株)	055-226-3742	小 野 健 一	鮮魚、煮貝
(株) マ ル ハ チ 村 松	054-622-7371	森 田 新 治	鰹の素、だしの素
山 梨 ヤ ク ル ト 販 売 (株)	055-237-8960	向 山 哲	健康科学ヤクルト
三 信 化 工 株 式 会 社	03-3539-3414	野 田 伸太郎	メラミン、ポリプロ食器
三 島 食 品 (株) 東 京 支 店	03-3317-1212	吉 岡 雄 史	フリカケ、レトルト食品
(株) H + B ライフサイエンス 東 京 支 店	03-5298-8188	吉 村 眞 一	マービー、粉飴、オリゴワンの製造販売
テ ル モ 株 式 会 社	0263-48-0701	大 庭 幸一郎	医療用食品の製造、販売
東 洋 羽 毛 首 都 圏 販 売 株 式 会 社 西 東 京 営 業 所	042-675-8811	柳 沼 喜 市	羽毛布団
東京サラヤ(株)メディカル事業本部 東京支店 ヘルスケア1課	03-3813-5630	高 麗 武 男	食品衛生材料、栄養食品の製造、販売
日 清 医 療 食 品 (株) 中 部 支 店	026-269-6700	崔 田 学	給食委託業務、給食材料、濃厚流動食
株式会社 岩崎 松本営業所	0263-39-0501	石 和 利 康	食生活、栄養指導用食品模型製造、販売
株 式 会 社 ク リ ニ コ	042-330-3404	鳥谷尾 直 子	病態栄養食品の普及、販促
東 洋 シ ス テ ム サ イ エ ン ス	045-451-3191	天 野 雅 浩	給食・栄養管理及び指導ソフト「カロリーメイク」の開発販売
(株) オ オ キ	055-273-6644	芦 澤 秀 雄	食品、環境の衛生管理、ソフト、ハードの全般
(株) ユ ウ シ ス テ ム	055-223-3085	山 口 竹 夫	福祉関係ソフトウェア開発、コンピューター機器販売

社 名	電 話	担 当	業 務 内 容
株 式 会 社 明 治 関 東 支 社	03-3305-4351	志 村 有希子	栄養食品、乳製品製造、販売
ネ ス レ 日 本 (株) ネスレヘルスサイエンスカンパニー	090-5437-5370	奥 尋 一	栄養食品（アイソカルシリーズ）販売
株 式 会 社 フ タ バ	0256-45-7272	今 井 和 郎	けずり節・だし粉末・その他食材製造・販売
花王カスタマーマーケティング(株) 東 京 リ ー ジ ョ ン	03-6746-2373	黒 田 浩 子	花王製品の販売
長谷川化学工業株式会社	047-482-1001	本 田 光 夫	まな板・ほうちょうなどの製造販売
大 陽 食 品 株 式 会 社	055-224-5415	新 津 明	業務用総合食材、老人医療用食材卸
エ コ ラ ボ 株 式 会 社	03-5285-2653	松 野 泰 明	洗浄剤、殺菌剤の製造、販売
株 式 会 社 セ ン だ い	055-262-1170	伊 藤 英 文	納豆の製造販売
カゴメ株式会社 東京支社	03-3861-7011	原 野 樹 里	飲料、調味料・パスタソースなどの製造・販売
伊 那 食 品 工 業 株 式 会 社	0265-78-1121	向 山 慎太郎	寒天及び介護食用寒天製品・ 家庭用食料品（デザート等）製造・販売
トオカツフーズ株式会社	045-564-5741	森 田 道 昌	弁当・おにぎり・サンドイッチ・惣菜・麺類などの調理済食品及び冷凍弁当・冷凍惣菜などの製造販売宅配
(株)日本食生活改善指導会 東 京 本 部 関 東 事 業 所	042-730-8323	豊 澤 範 衛	無水鍋など調理器具のPR
(株)ベネフィットワン・ヘルスケア	03-6417-9981	井 田 章 子	特定保健指導事業・各種健康セミナー等事業
株 式 会 社 ファ ン デ リ ー	03-6741-5890	梶 原 哲 也	栄養士による食事の宅配・栄養相談、医療食の通信販売、栄養士のポータルサイト運営など
旭化成ファーマ株式会社	026-224-7515	長 野 営 業 所 ヘルスケア担当 渡 邊 史 乃	・医療用医薬品の製造・販売 ・ヘルスケア製品・流動食の製造・販売
株 式 会 社 お ぎ そ	0572-59-8639	塚 本 北 斗	学校・保育所・病院・福祉施設の給食用食器、リサイクル強化磁器食器の製造販売。 破損した強化磁器食器の回収・リサイクル等、環境に配慮した事業活動
丸 大 食 品 株 式 会 社 中 部 特 販 営 業 課	054-623-8617	杉 本 典 昭	ハム、ウインナー、惣菜の製造販売
株式会社サンプラネット 健 康 事 業 本 部	03-5978-1953	第2営業所所長 岡 田 守 正	食品の販売（飴、ゼリー、特定保健用食品など）
株 式 会 社 コ ー ゲ ヅ	055-260-7311 080-3472-9586	山 梨 営 業 所 加 藤 良	冷凍食品・食材関連品の卸販売業務
生活協同組合パルシステム山梨	055-243-6327	小 沢 浩 二	食品・家庭用品等の販売
味の素冷凍食品株式会社	03-5798-8653	地 濃 雅 実	冷凍食品の研究開発・製造・販売
ホシザキ東京株式会社山梨支店	055-237-7126	宮 下 正 一	業務用厨房機器の販売及びアフターサービス
サ ン ワ フ ー ズ 株 式 会 社	0550-83-1122	齊 藤 猛	病院・老健施設給食、社員食堂・レストラン等
株式会社インフィニバリュー	070-6988-0025	玉 川 眞奈美	メニュー、新商品開発及び販路拡大・アレルギー対応食、食材のプロモーション
株式会社セフネット 新宿支社	03-5919-2798	伊 藤 喜 嗣	品質保証米の販売事業
株 式 会 社 宮 源	080-8513-9276	高 橋 浩 幸	治療食、ゲル化剤、非常食等の製造販売



事務局からのご案内



◎平成26年度 年会費の納入のお願い

自動払込みの手続きをとられていない会員は、平成26年3月28日（金）までに下記の山梨中央銀行またはゆうちょ銀行に納入をお願いします。

☆銀行の指定口座

山梨中央銀行甲府駅前支店
（普通）287296
公益社団法人 山梨県栄養士会

振込み手数料 (ATM) (窓口扱)

山梨中央銀行甲府駅前支店からの場合	105 円	105 円
山梨中央銀行本店・他支店からの場合	105 円	315 円

☆ゆうちょ銀行の払込み先

口座 10890 - 11752671
公益社団法人 山梨県栄養士会

払込み手数料

通帳から払込み（窓口扱）	140 円
通帳から払込み（ATM 扱）	無 料
現金を窓口で払込み	525 円

◎平成26年度 正会員会員証について

平成24年度より会員証は、5年更新のカード形式となっております。（平成24年～28年まで有効）

そのため、平成25年度より平成28年度まで、会員証の送付はありませんので、ご了承ください。なお、紛失の場合は有料（1,000 円）にて再発行いたします。また、会費の領収書は

通帳記帳、コンビニ払込受領証等により代えさせていただきますが、必要な場合は、事務局までご連絡下さい。

会 費

日本栄養士会費 6,500 円
山梨県栄養士会費 7,500 円
連盟会費 2,000 円（連盟の口座）

◎毎年の会費の納入は自動引落しをお願いします。

（毎年4月10日に引落します）

平成26年自動引落しは、2月28日（金）までに手続きすれば、4月10日に引落とされます。

自動引落し手続きは、山梨中央銀行本・支店、又はゆうちょ銀行で自動払込利用申込を行って下さい。手続きには、通帳と印鑑が必要です。

振替指定口座（中銀）または払込先（ゆうちょ）は、上記に記載してある☆印の口座です。

引落し手数料

山梨中央銀行	105 円	預金口座振替以来 （自動会計サービス）
ゆうちょ銀行	25 円	自動払込利用申込

◎会員登録事項の変更は早めにご連絡を！！

- ・住所が変わった時・・・
- ・勤務先が変わった時・・・
- ・結婚等で姓が変わった時・・・
- ・県外に引っ越しの時 ⇒ <転出届>
- ・退会の時 ⇒ <退会届>

◆これらの変更があった時は、必ず、県栄養士会へご連絡をお願いします。

◎編集委員

田草川憲男、遊佐 渚、半田裕子
三浦ちせ、塚原順子、天野江津子
古屋宏美、吉原京子、三上順子



事務局の年末・年始について

平成25年12月28日（土）～平成26年1月5日（日）までお休みとなります。

編 集 後 記

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

この「栄養やまなし」は編集委員、多くの会員のお力により発行しております。皆様からのご意見をお待ちしております。

今年も、スキルアップのため積極的に研修会に参加しましょう。

（編集委員一同）

栄養やまなしNo.98 平成26年1月1日
発行所 公益社団法人山梨県栄養士会
〒400-0805 甲府市酒折1丁目1-11 日星ビル4階
TEL/FAX 055-222-8593
ホームページアドレス <http://www.eiyouyamanashi.com/>
メールアドレス yamaei@eps4.comlink.ne.jp
(平成26年1月31日まで)
yamaei2228140@yahoo.co.jp
(平成26年1月5日から)

印刷所 (有)オズプリンティング

◆山梨県栄養士会 HP の会員専用ページへの入り方 ユーザー名：yamaei ・パスワード：1985fukayama